

**令和4年度第3回青森市廃棄物減量等推進審議会
会議概要**

1 日時

令和5年2月9日（木） 10時00分～11時00分

2 場所

青森市福祉増進センター（しあわせプラザ）2階 研修室

3 出席者

【委員】

佐々木委員（会長）、西田委員（副会長）、青山委員、伊藤委員、上明戸委員、竹中委員
（一戸委員、三津谷委員が欠席し、8名中6名出席）

【事務局】

環境部 高村部長、泉次長

環境政策課 溝口主幹、廃棄物対策課 上野課長

清掃管理課 堰野端課長、坂本主幹、日渡主幹、吉田主査、増田主事

青森市清掃工場 今主査

浪岡振興部

市民課 中西課長

4 会議の公開、非公開の別

「青森市附属機関の設置及び運営に関する指針」に基づき、会議は原則として公開することとしており、当審議会においても公開とした。

5 会議内容

(1) 委嘱状交付式

(2) 令和4年度第3回審議会

①組織会

②開会

③審議「令和5年度のごみ減量化・資源化の取組（案）について」

配付資料「ごみ減量化の進捗状況」、「令和5年度 ごみ減量化・資源化の取組（案）」について、事務局から説明を行い、委員から意見・質問等をいただいた。

④その他

⑤閉会

6 会議要旨

(委員)

新たな取組「市公式 SNS（ユーチューブチャンネル等）を活用した意識啓発」について、電池という観点からすると、分別方法が様々で分かりづらく、読んで理解するのは難しいので、動画という形で発信するというのは、非常に分かりやすく効果的であると思う。

リチウムイオン電池などの小型充電式電池の回収について、令和5年度の継続取組（拠点回収の実施）として、「リチウムイオン電池等の二次電池を対象とした拠点回収の強化期間を実施する。」とあることから、市の施設等での拠点回収として実施することは、市民の皆さんも出しやすくなるので、検討してよいのではと考える。

(委員)

ごみ減量化の進捗状況として、令和4年度は、計画最終年度の令和6年度の目標排出量を下回る見込みであるという状況を見て、非常に良かったと感じているが、引き続き啓発活動に取り組まなければならないと考えている。その中で、審議会委員の意見を反映させた拡充の取組として、「ごみの分別について、問合せの多いものや間違えやすい分別の事例を紹介し、正しい分別への協力をお願いするリーフレットの作成」については効果的であると考えている。

検討してほしい点として、宮城県南三陸町で取り組まれている、「ごみの適正分別への協力について感謝を伝える」内容を盛り込むことを提案したい。（青森県でも「サンキューカード」という取組を実施している。）また、可燃ごみの処理費などのごみ処理経費やごみ分別によるメリットを市民に情報開示することで、ごみの適正分別行動の促進につなげることを提案したい。（「新たに作成するリーフレットに内容を掲載する。」、「ごみ収集場所などの回収拠点に掲示する。」など）

(委員)

拡充の取組「大学等の学生へのごみ減量化・資源化の啓発」に関連し、青森県では、市内大学生がリーフレットを作成し、来年度の市内大学・短期大学の新生ガイダンスで活用していただけるよう発送したところである。県内に転入される学生などに「学生生活でできるごみ減量の取組」への啓発を県と市で連携できると、より良い取組となると考えるので、市が作成する資料と併せて配布するようお願いしたい。今年度は市内としたが、来年度は市外へと拡大したいと考えている。

(委員)

環境への負荷ができるだけ低減される循環型社会の実現を図るため、地域住民を巻き込んだコミュニティビジネスの創出までできるような施策を考えてほしい。例えば、浪岡地区はりんご農家が多いので、小枝をチップ化して灯油などの燃料に置き換えるなどの、将来を見据えた発想の転換を地域の関心を持った方々と手を組んで作り上げるような取組があっても良いのでは、と感じた。

(委員)

現在国が押し進めている、社会全体のデジタル化の推進と業務改革への取組「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」について、企業等では、ペーパーレス化によるコスト削減などに取り組まれているところであるが、事務局には、市が押し進めている DX への取組の中に、「DX に取り組むことによってごみ減量化といった効果も生み出される。」といった内容も盛り込めないか、会議の際に発言していただきたい。

(委員)

継続して取り組んでいる「分別収集推進事業」について、分別収集による資源化量の推移を見ると、残念ながら、青森・浪岡地区ともに、年々減少傾向にある。とあるスーパーでは、分別収集に協力した方へポイントを付与する制度を導入しているところがある。市としても、分別収集への取組増加・ごみの減量化につながる新たな取組を考えてほしい。